

表面処理技術のさらなるグローバル展開をめざして

第56期・2016年3月期

決算説明会資料

株式会社 JCU

東証1部 4975

2016年5月13日(金)

<http://www.jcu-i.com/>





- **2016年3月期決算概要**

- トピックス

- 新経営方針について

- 参考資料（会社概要）

2016年3月期業績概況

当社決算の概況

【参考】 会計期間

- ・JCU(単体) → 4月-翌3月
- ・海外子会社 → 1月-12月

《電子部品分野向け》

スマートフォンをはじめとするモバイル通信機器の販売が高止まりで推移したものの、成長が鈍化。特に、ハイエンドは軟調。一方、ミドルレンジの中国スマートフォンは比較的堅調に推移。

中国スマートフォン向けの基板を手がける当社顧客の中国ローカル基板メーカーの稼働が寄与し、ハイエンドの落ち込みをカバーした。

《自動車分野向け》

国内の薬品販売は、低迷する自動車販売のあおりを受け軟調、横ばい。海外は中国において景気減速の懸念があったものの、小型車減税による底堅い需要と拡販による新規ライン獲得が貢献し、薬品販売は堅調に推移。設備投資の一服感から、昨年につき装置販売は前年を下回った。

2016年3月期業績概況

【連結】

(単位:百万円)

| 決算期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 | | | |
|-------------------------|----------|----------|----------|---------|---------|--------|
| | 実績 | 実績 | 期首予想 | 修正予想 | 実績 | 対前期増減率 |
| 売上高 | 16,467 | 19,803 | 21,400 | 20,000 | 19,818 | 0.1 % |
| 営業利益 | 2,726 | 4,606 | 5,000 | 5,000 | 4,906 | 6.5 % |
| 経常利益 | 2,964 | 4,834 | 5,000 | 5,000 | 4,926 | 1.9 % |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1,763 | 3,204 | 3,500 | 3,500 | 3,410 | 6.4 % |
| 1株当たり 当期純利益 | 250円04銭 | 454円30銭 | 496円15銭 | 496円15銭 | 483円51銭 | — |

貸借対照表 要約

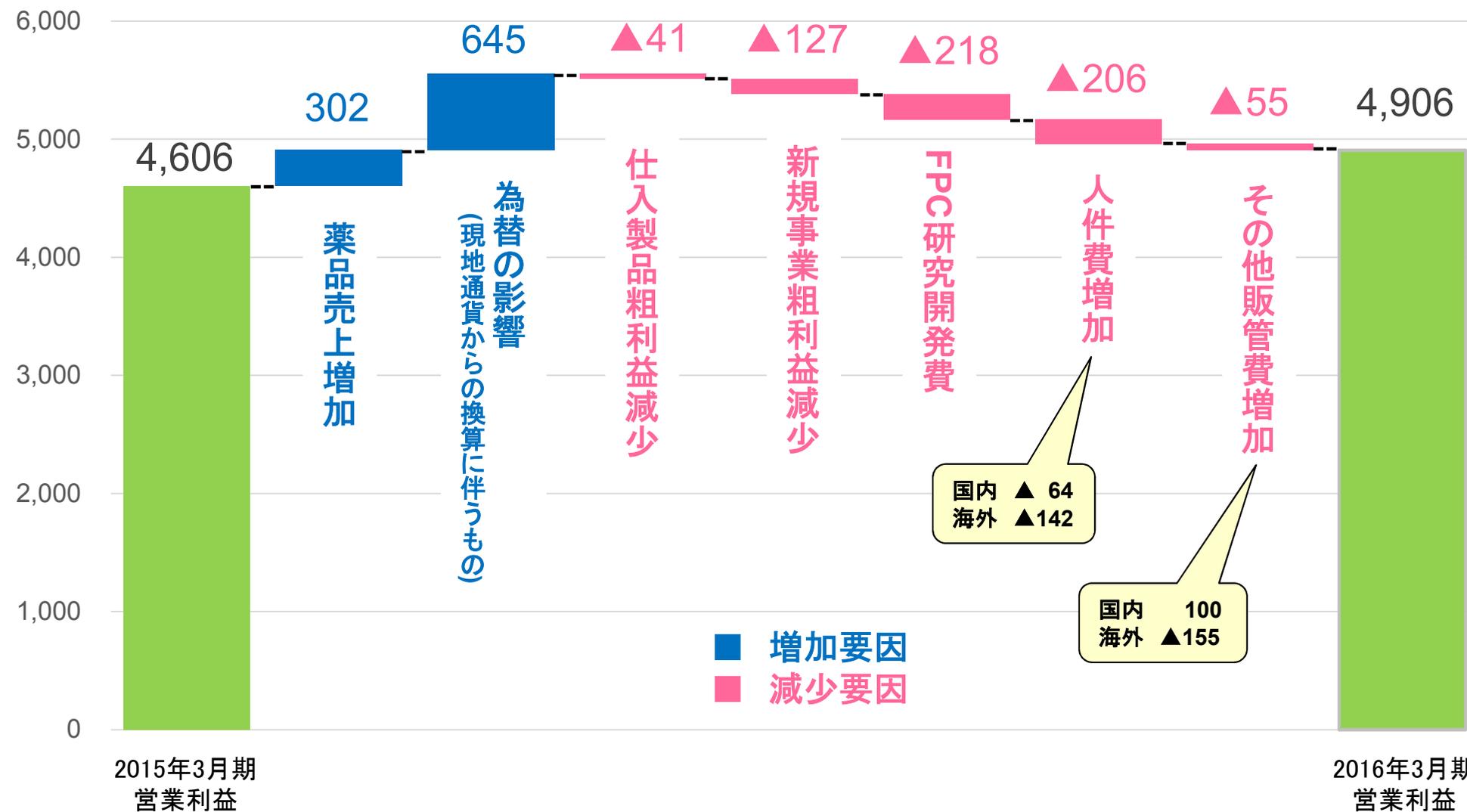
| (百万円) | 2015年3月期 | 2016年3月期 |
|---------------------|----------|----------|
| 流動資産 | 15,511 | 15,872 |
| 現金及び預金 | 7,013 | 7,543 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,695 | 5,814 |
| たな卸資産 | 1,647 | 1,560 |
| 固定資産 | 6,104 | 6,335 |
| 有形固定資産 | 4,111 | 4,088 |
| 投資その他の資産 | 1,902 | 2,156 |
| 資産合計 | 21,616 | 22,208 |
| 流動負債 | 5,636 | 4,626 |
| 支払手形及び買掛金(電子記録債務含む) | 2,320 | 1,981 |
| 短期借入金(一年内長期含む) | 818 | 583 |
| 固定負債 | 2,347 | 1,877 |
| 長期借入金 | 1,019 | 541 |
| 負債合計 | 7,983 | 6,503 |
| 純資産合計 | 13,633 | 15,704 |
| 負債・純資産合計 | 21,616 | 22,208 |

※ 一部の勘定科目について省略しております。

2016年3月期 連結営業利益 増減内容

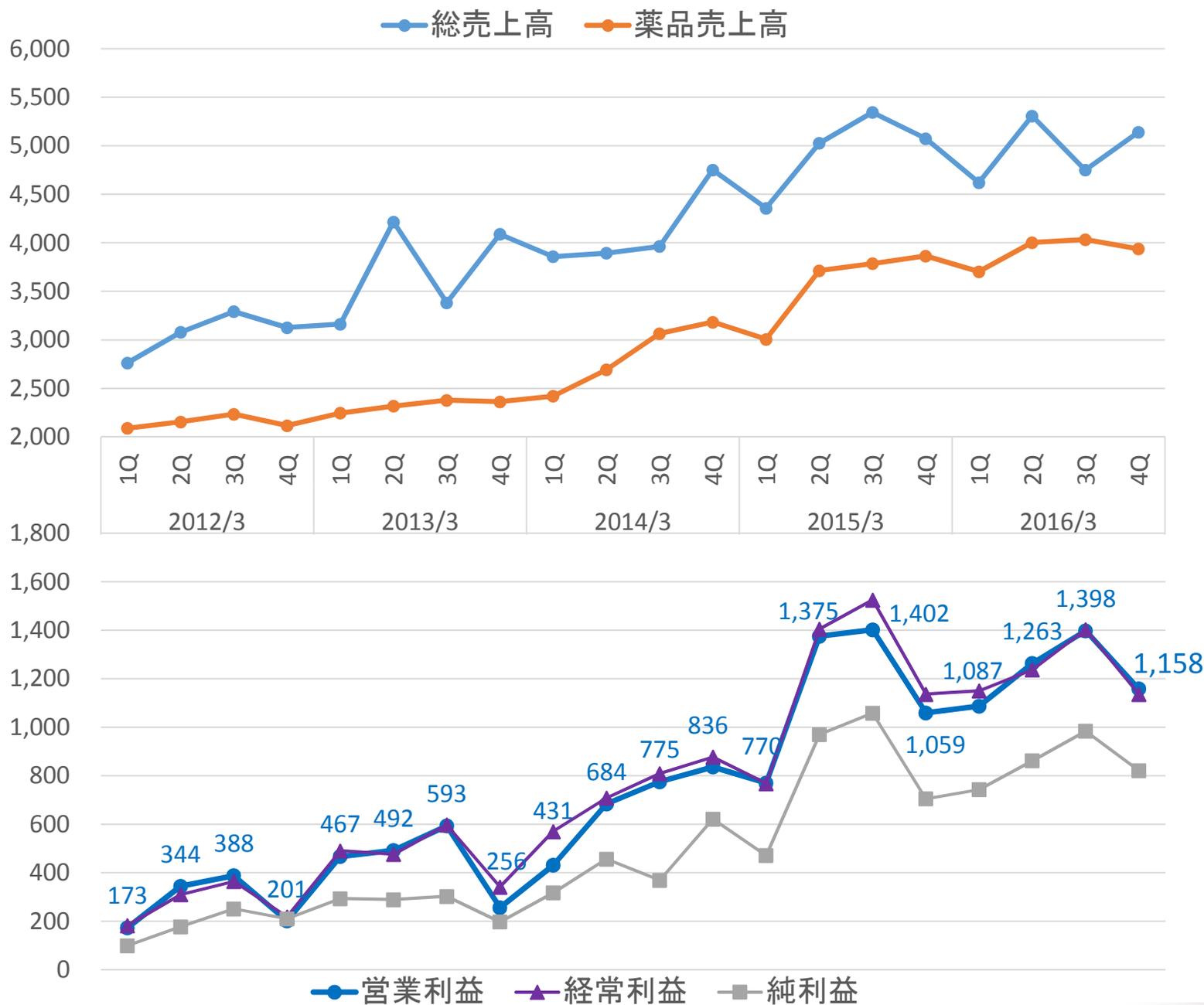
(単位:百万円)

(前期比)
+ 300

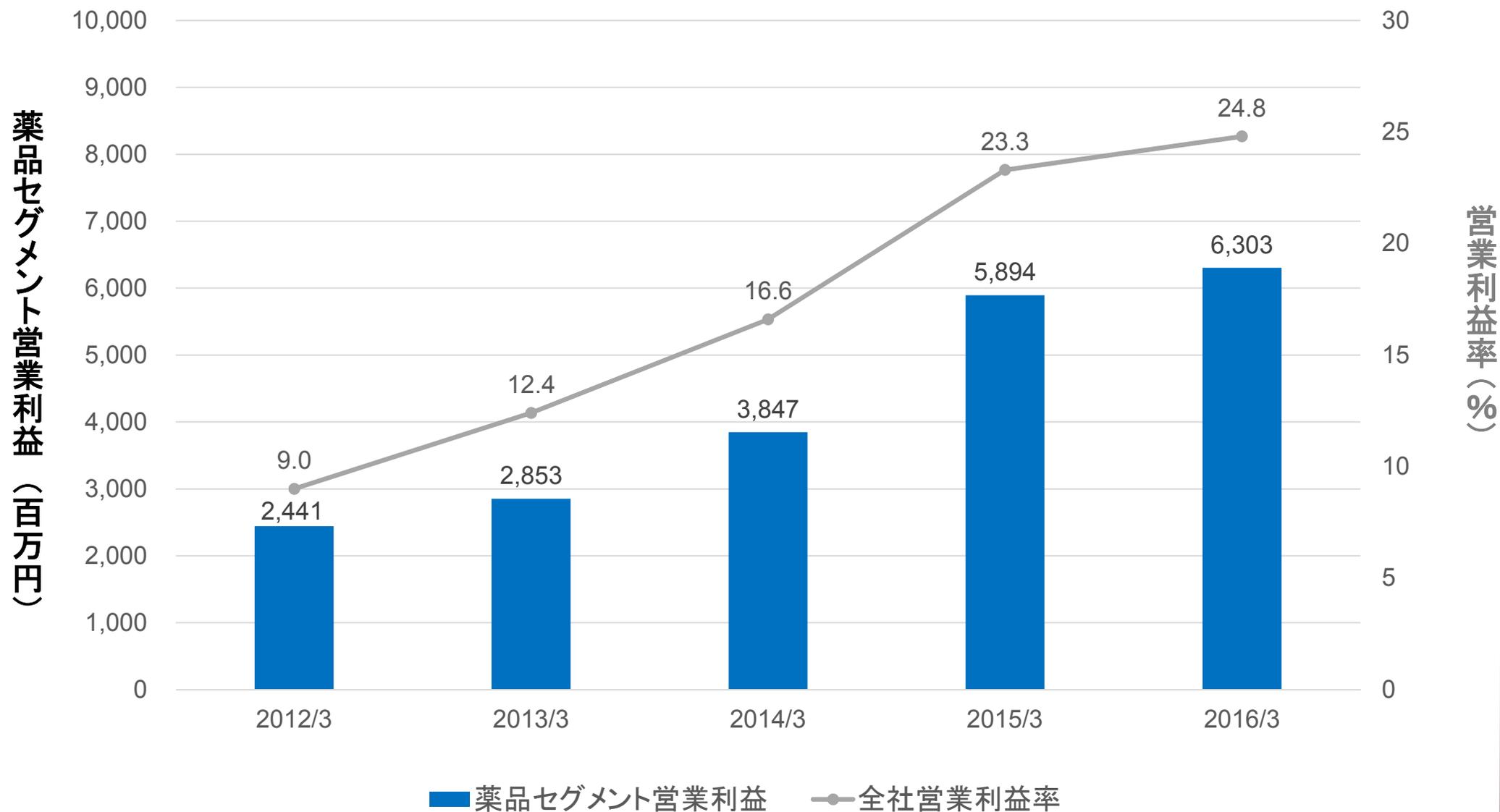


四半期別 連結業績の推移

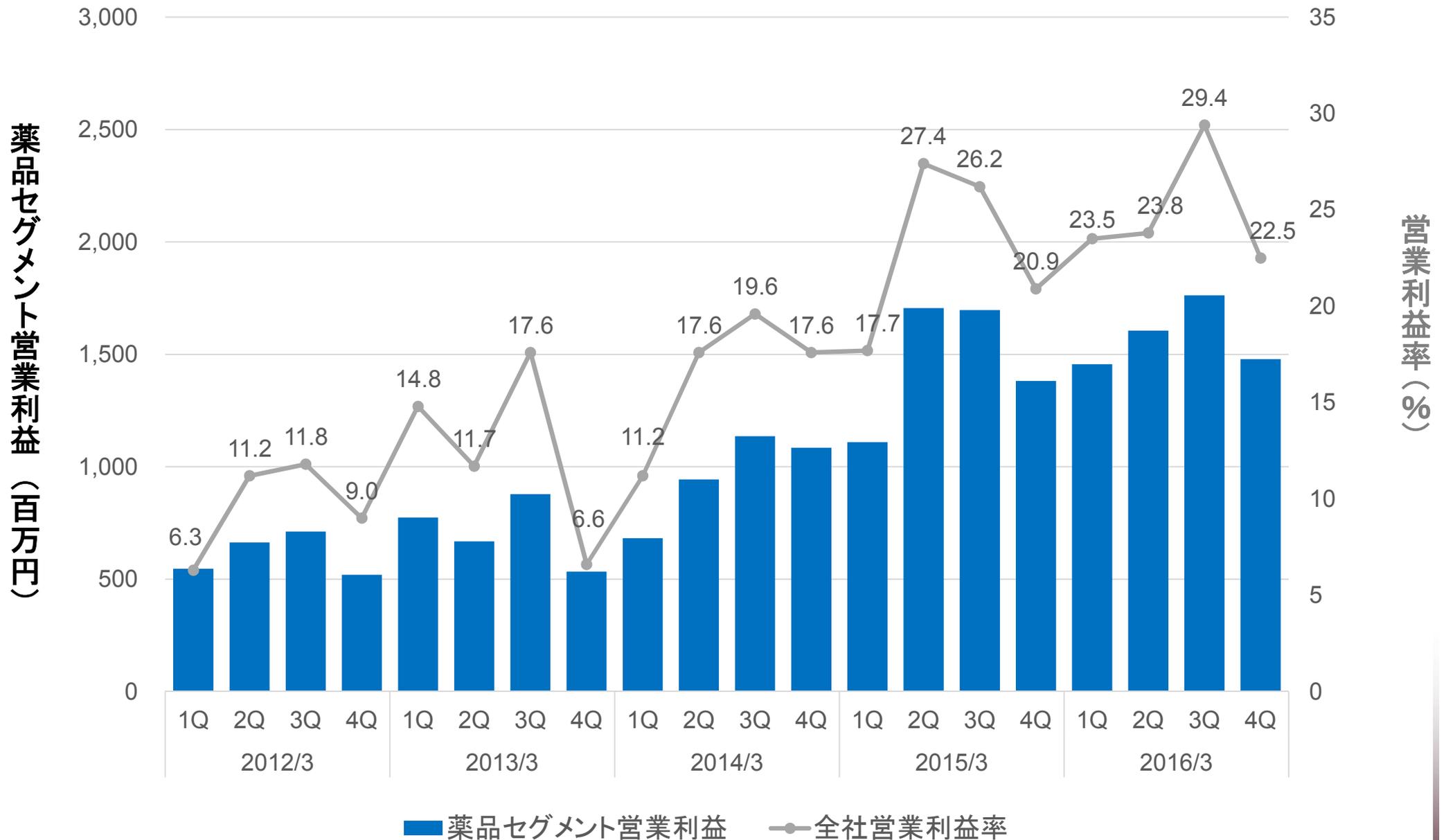
(単位:百万円)



年度別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移

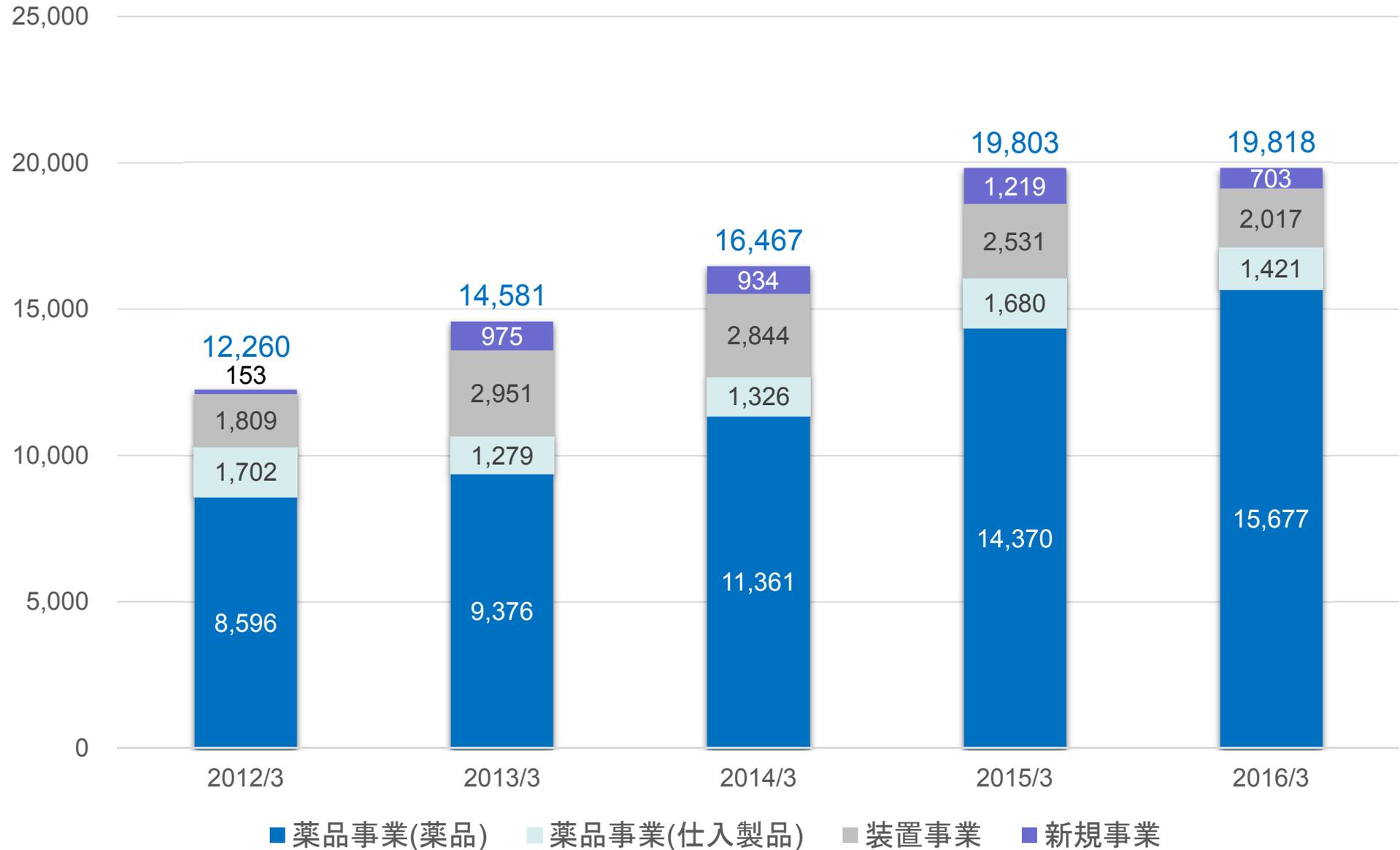


四半期別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移



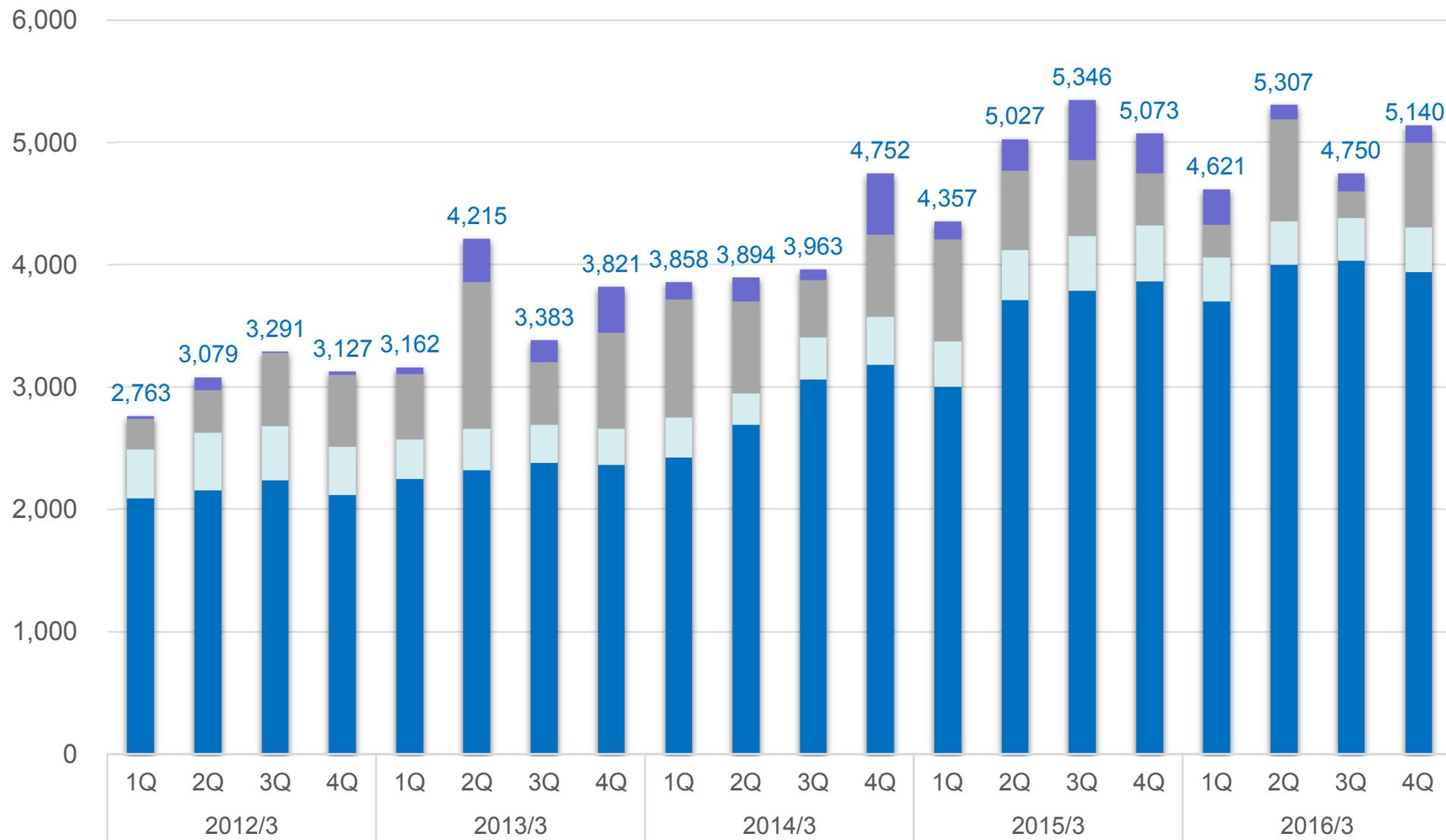
年度別 連結売上高の推移

(単位:百万円)



四半期別 連結売上高の推移

(単位:百万円)

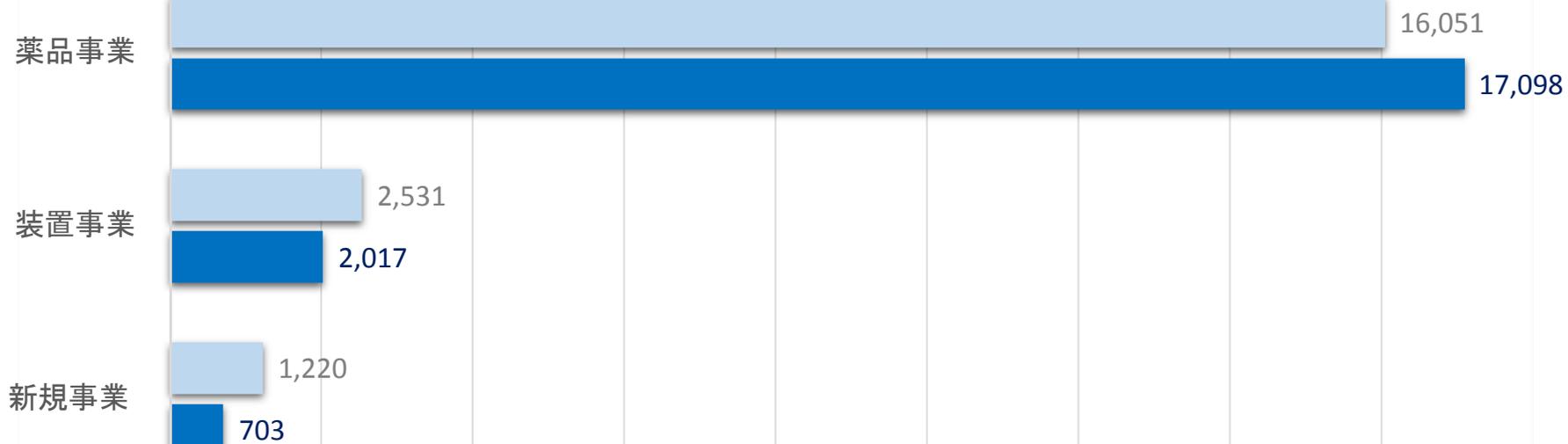


■ 薬品事業(薬品) ■ 薬品事業(仕入製品) ■ 装置事業 ■ 新規事業

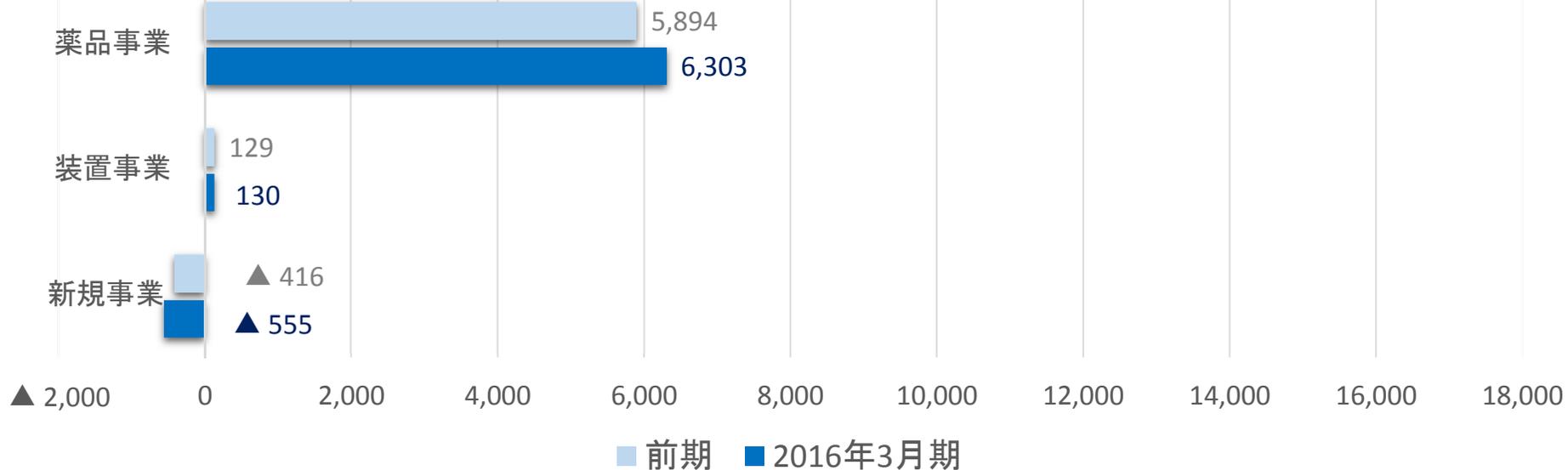
2016年3月期 連結セグメント業績

(単位:百万円)

売上高

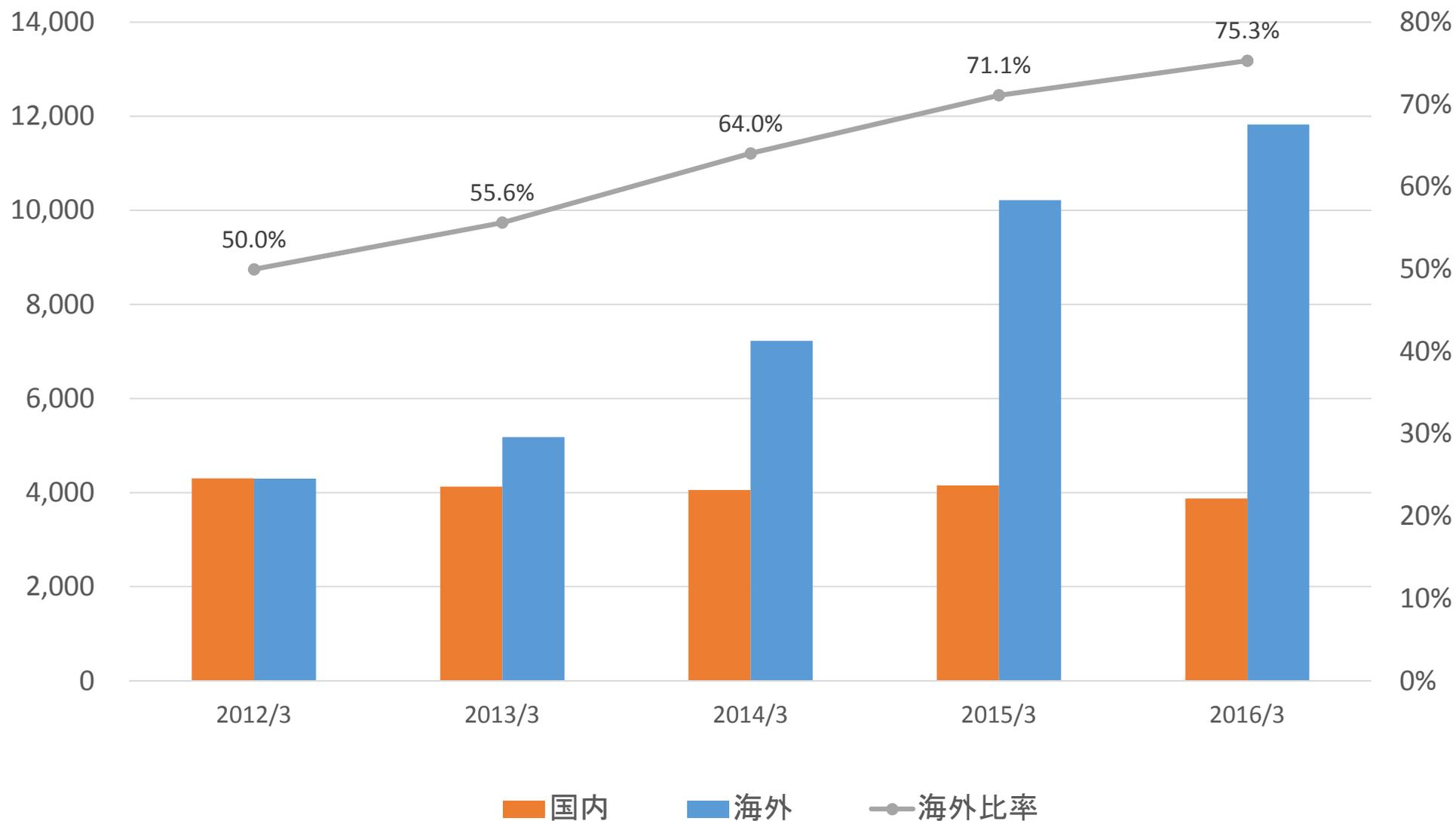


セグメント利益



年度別 国内外薬品売上高推移

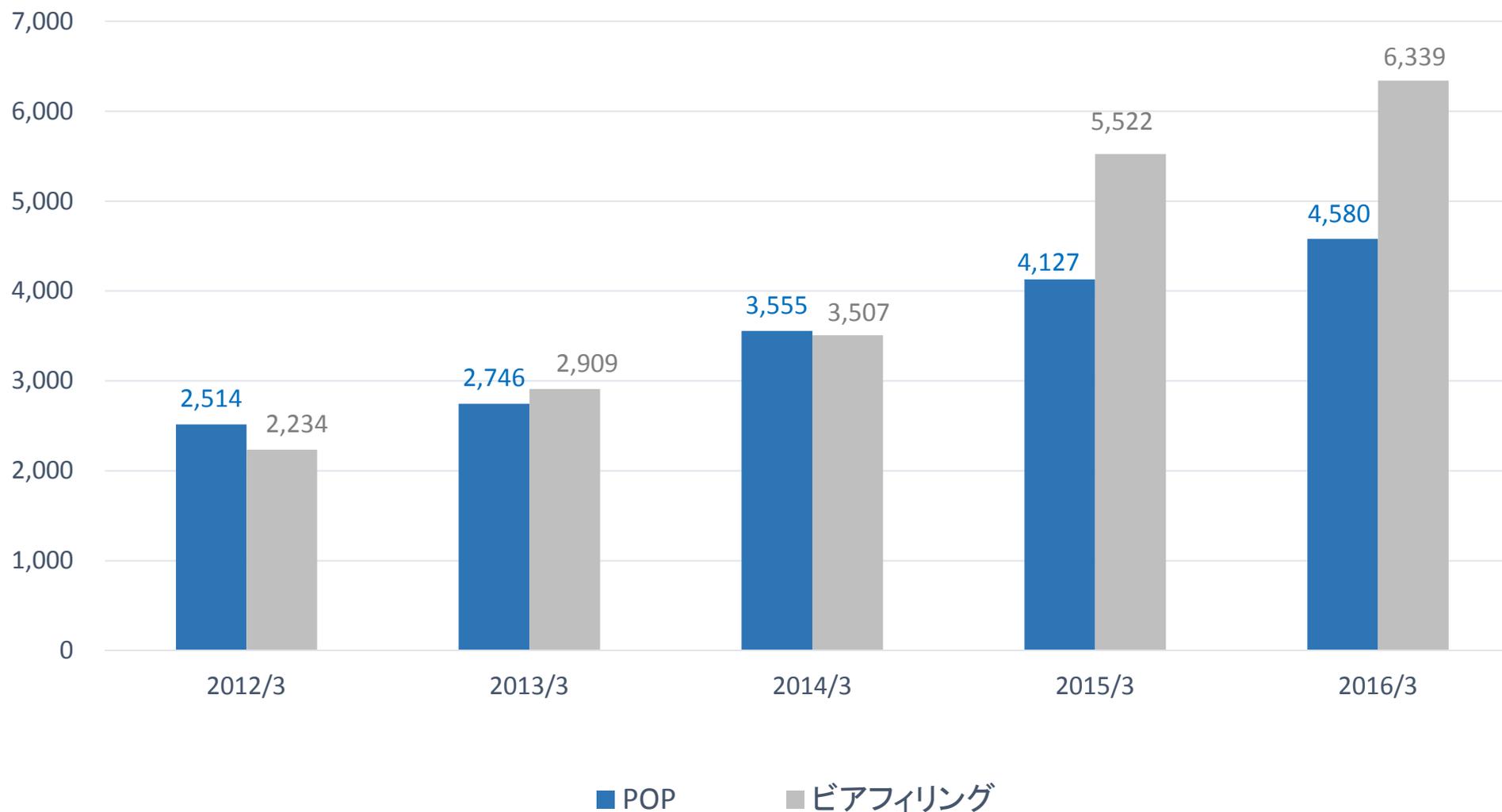
(単位:百万円)



年度別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

(単位:百万円)

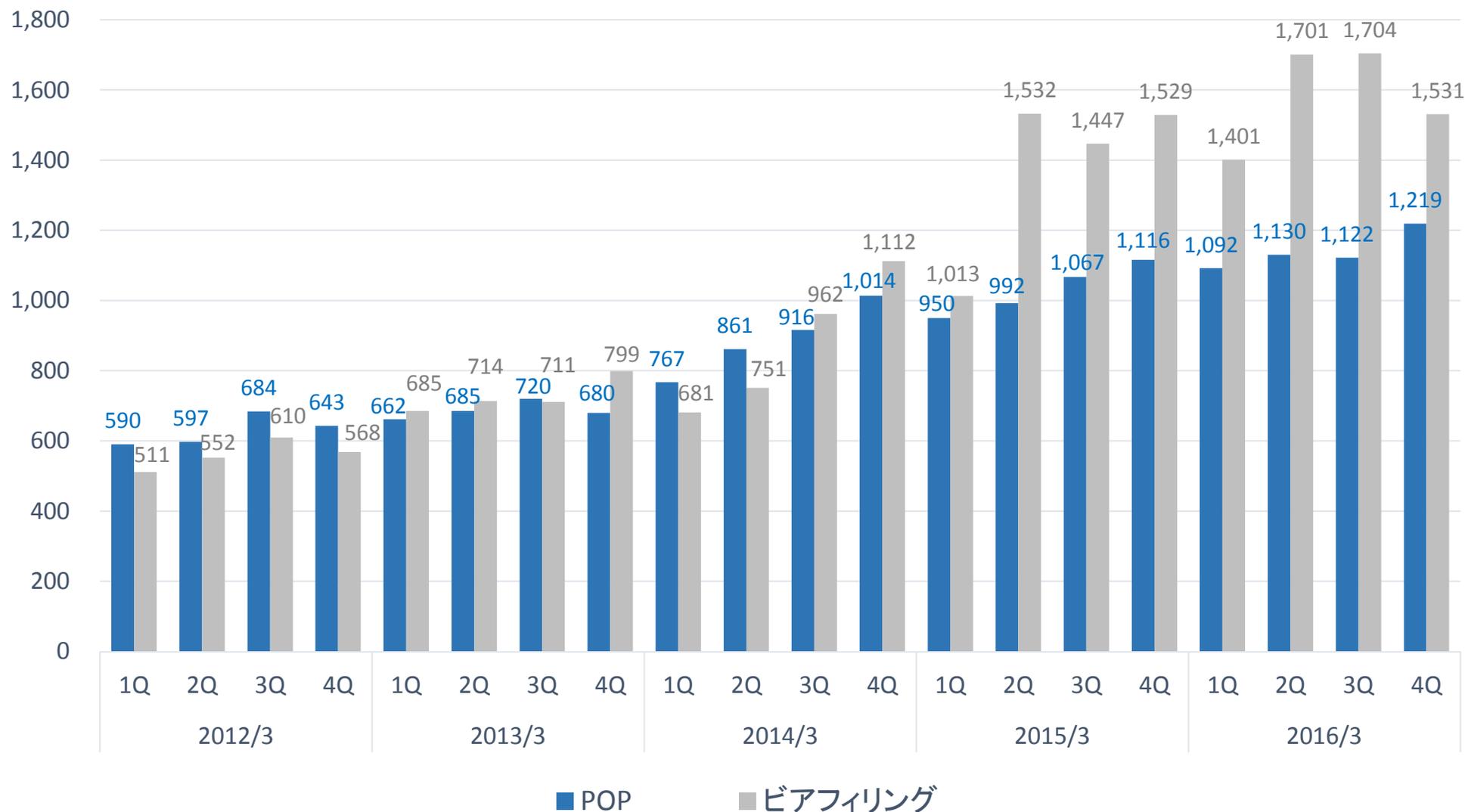
POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
ビアフィリング … プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

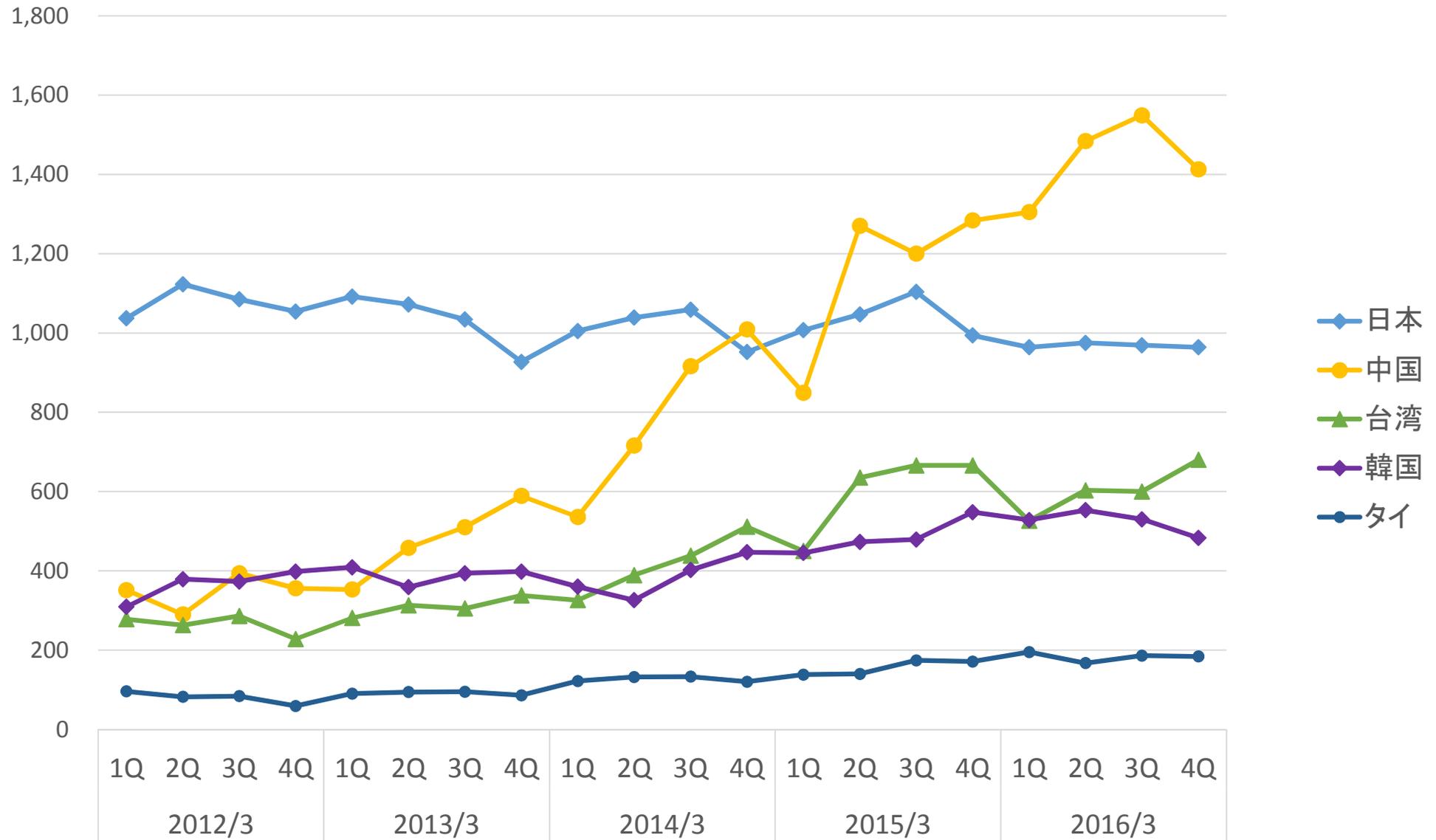
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) …… プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング …… プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

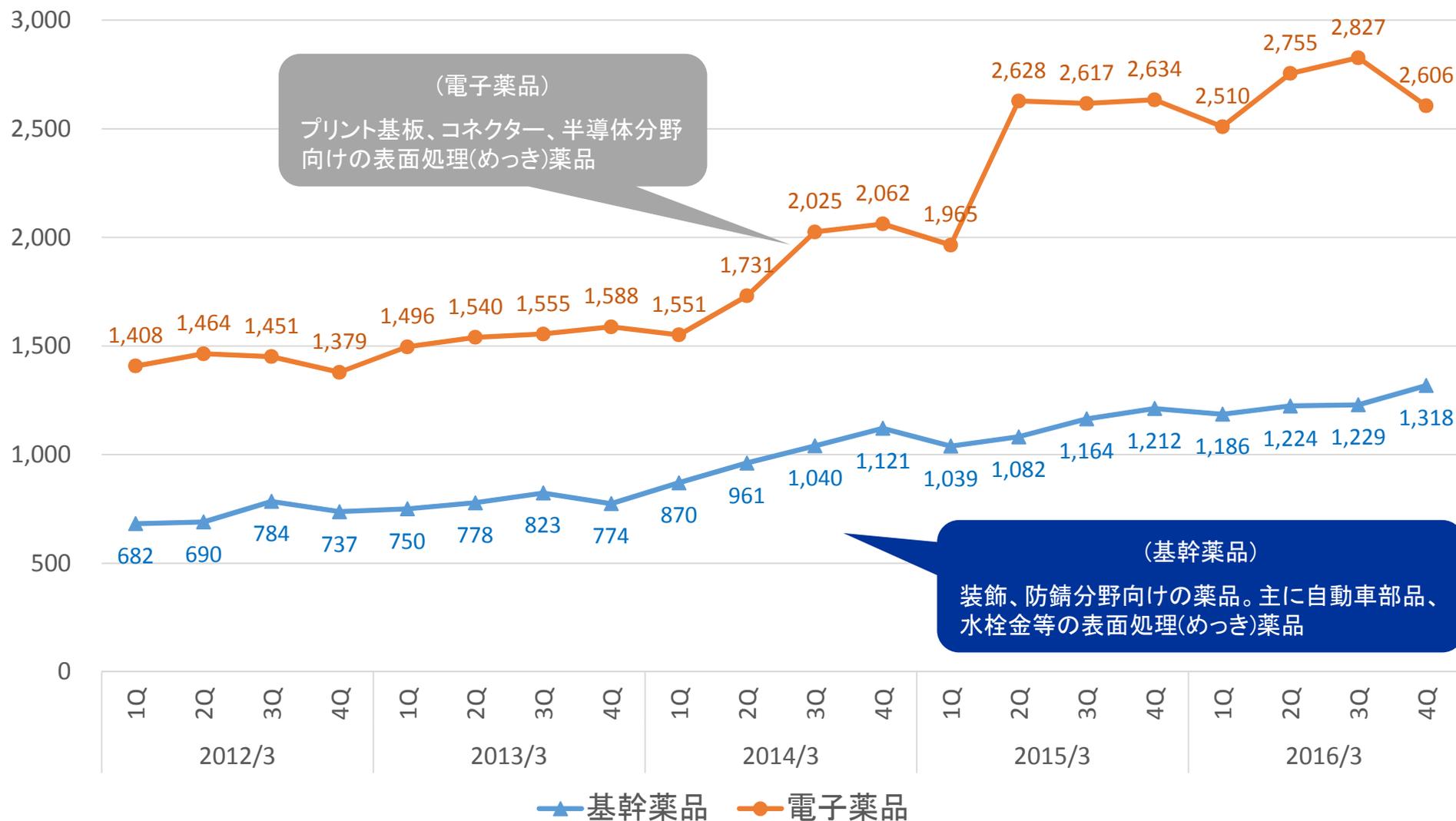
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

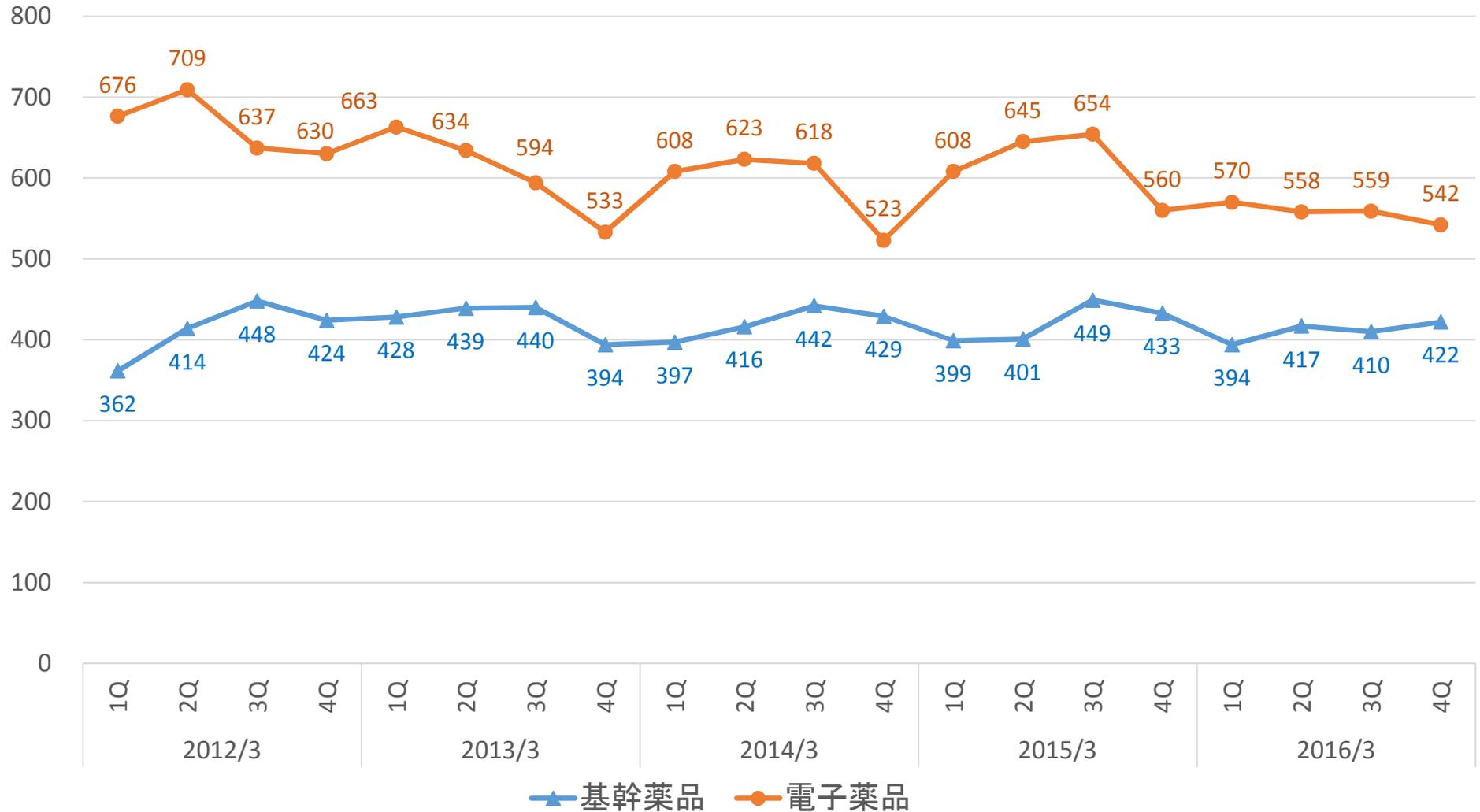
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

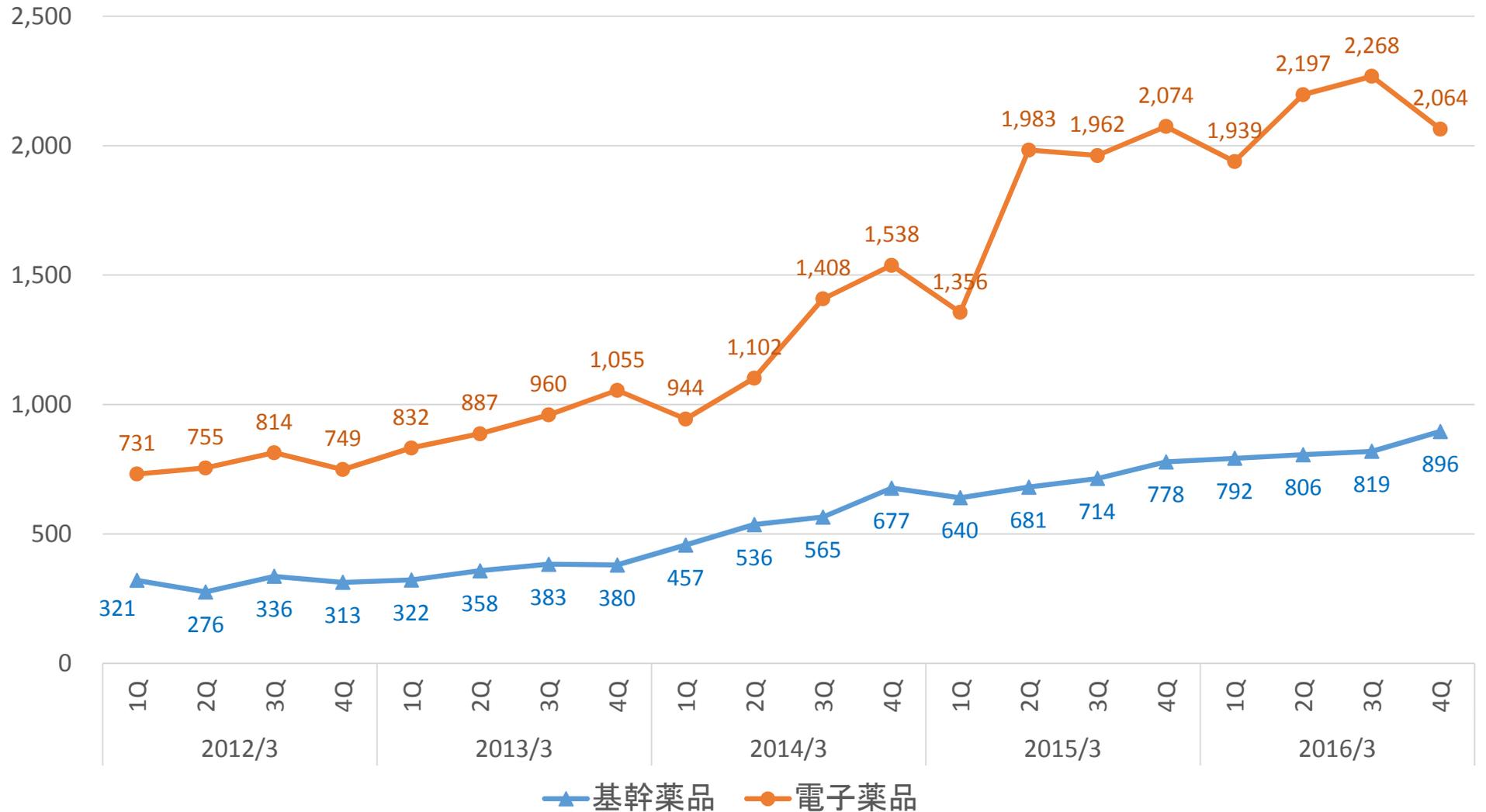
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

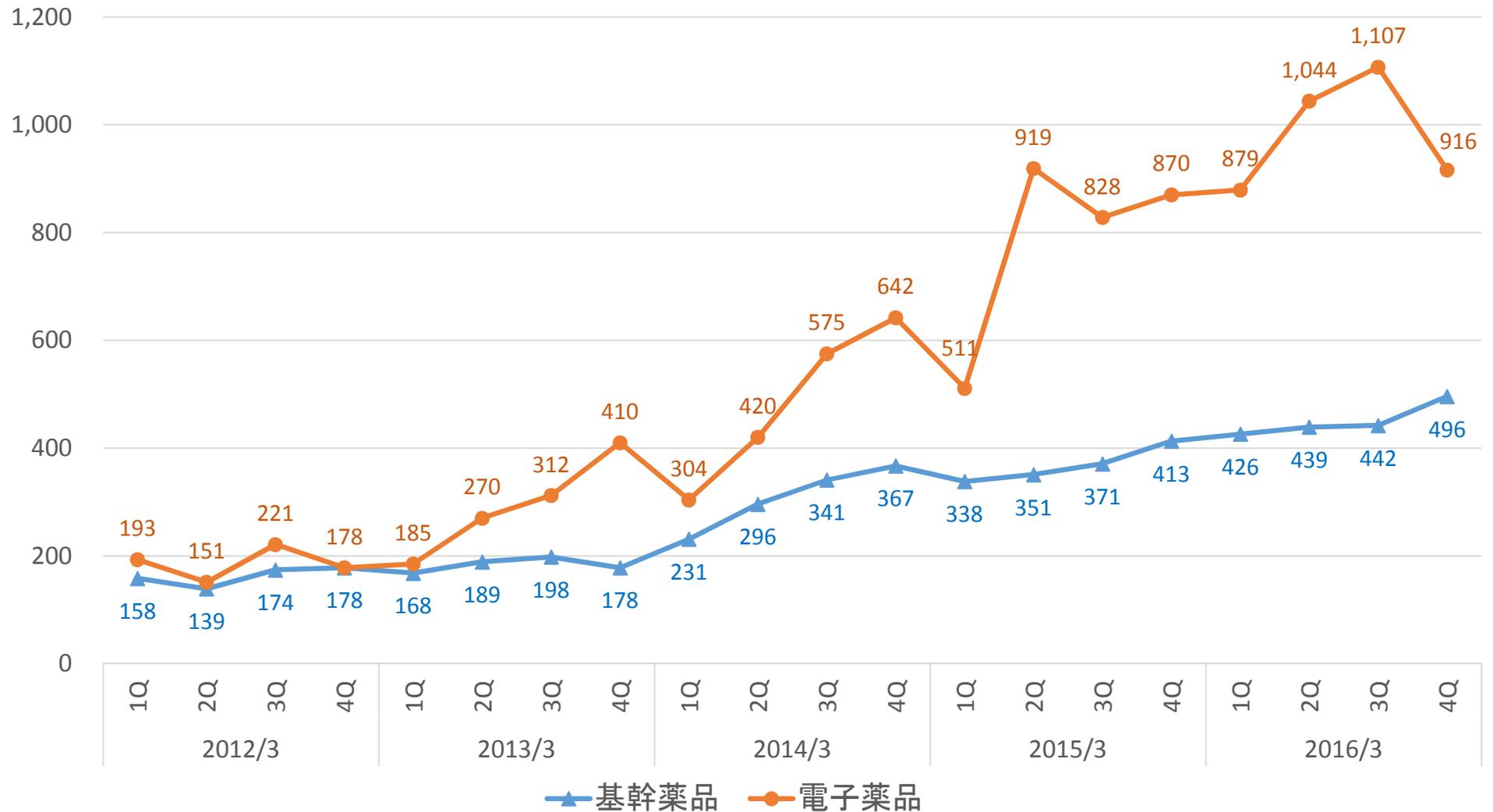
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

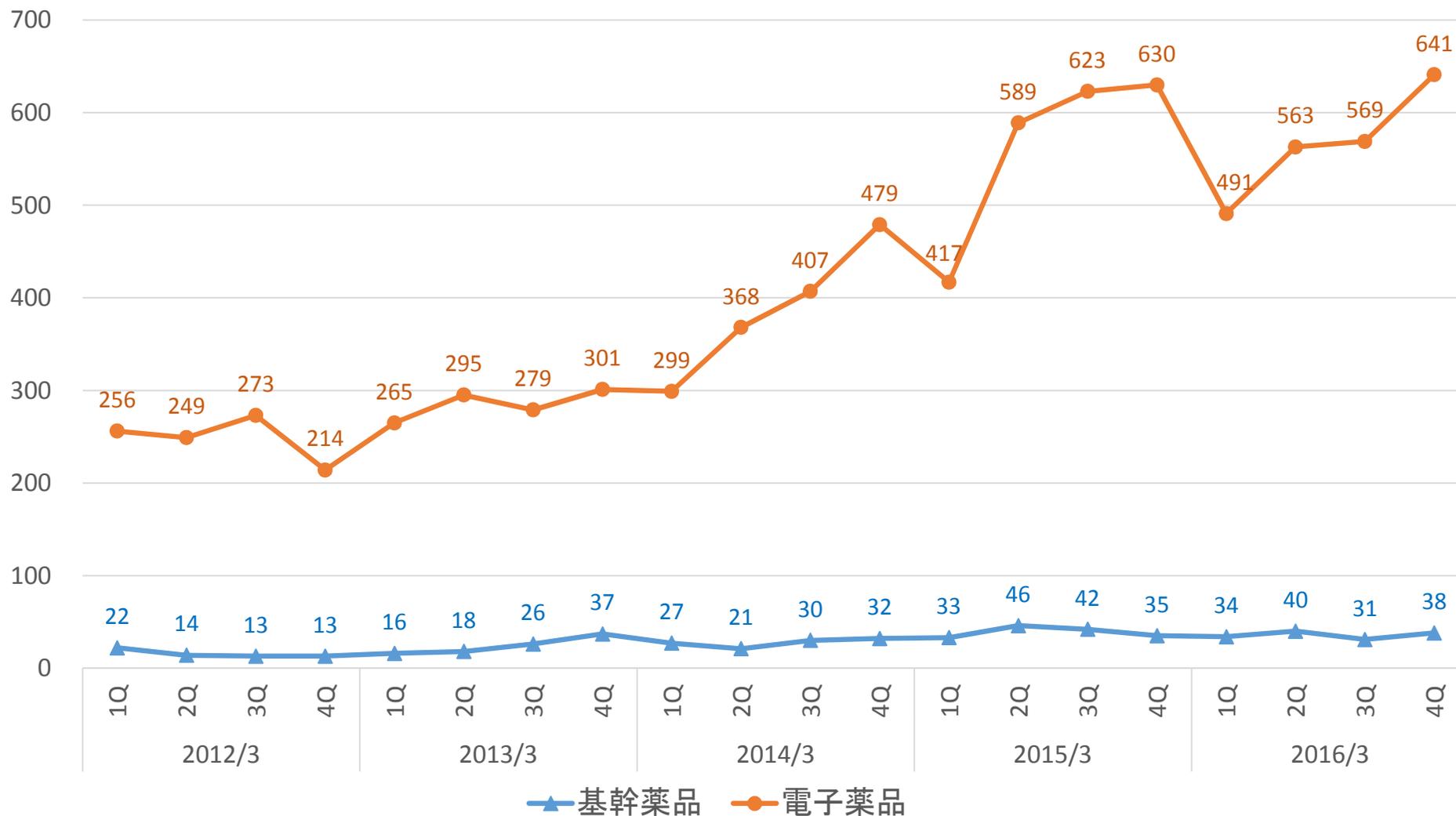
中国 (台湾直販分含む)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

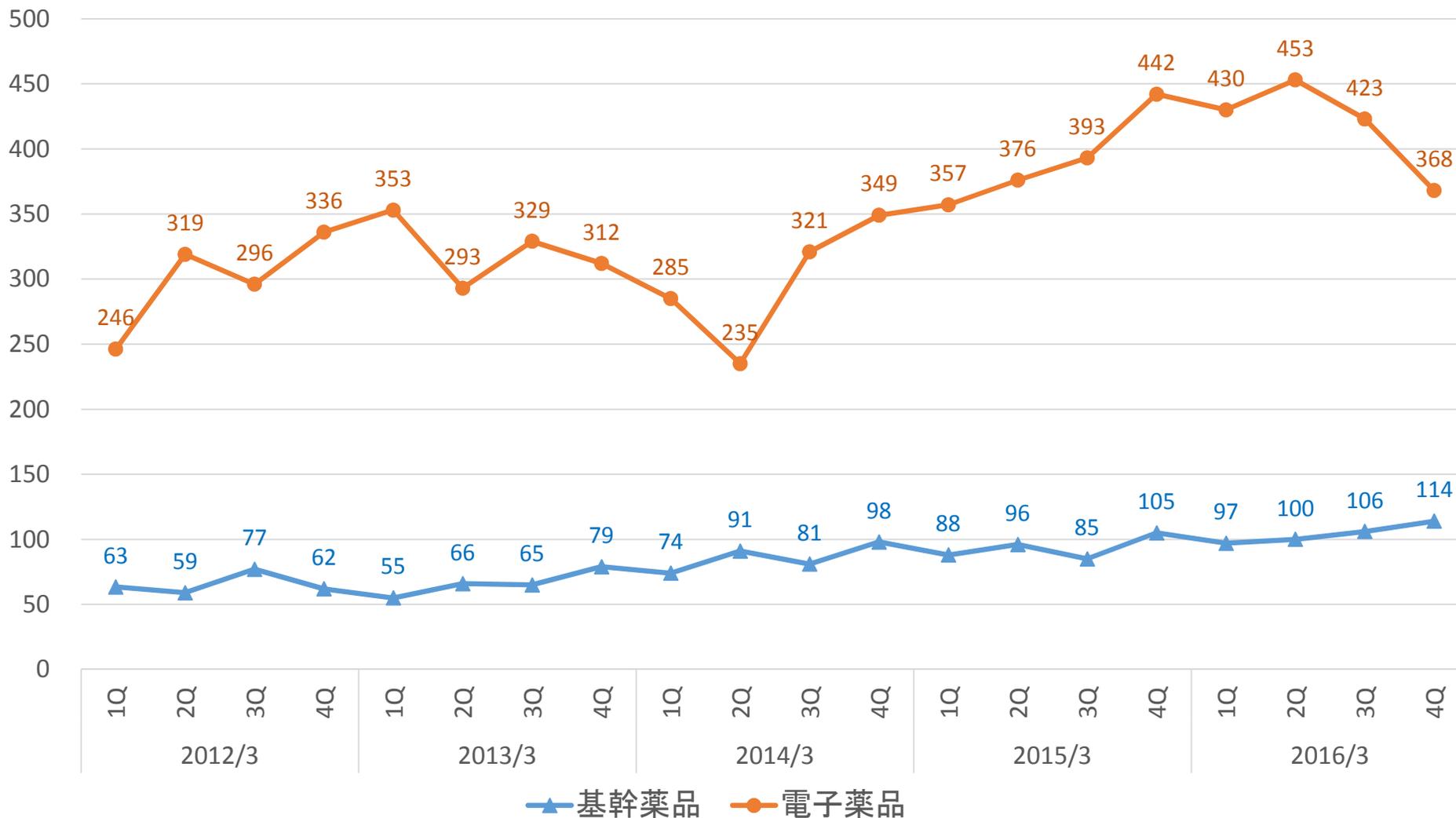
台湾 (中国直販分除く)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

韓国



配当予想

| | 1株当たり配当金 | | |
|------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| | 中間 | 期末 | 年間 |
| 2017年3月期 (予想) | 60円 | 60円 | 120円 |
| 2016年3月期 | 60円 (内:記念配当10円) | 60円 (内:記念配当10円) | 120円 (内:記念配当20円) |
| 2015年3月期 | 40円 | 50円 | 90円 |

(注) 2014年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割を行っております。
2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

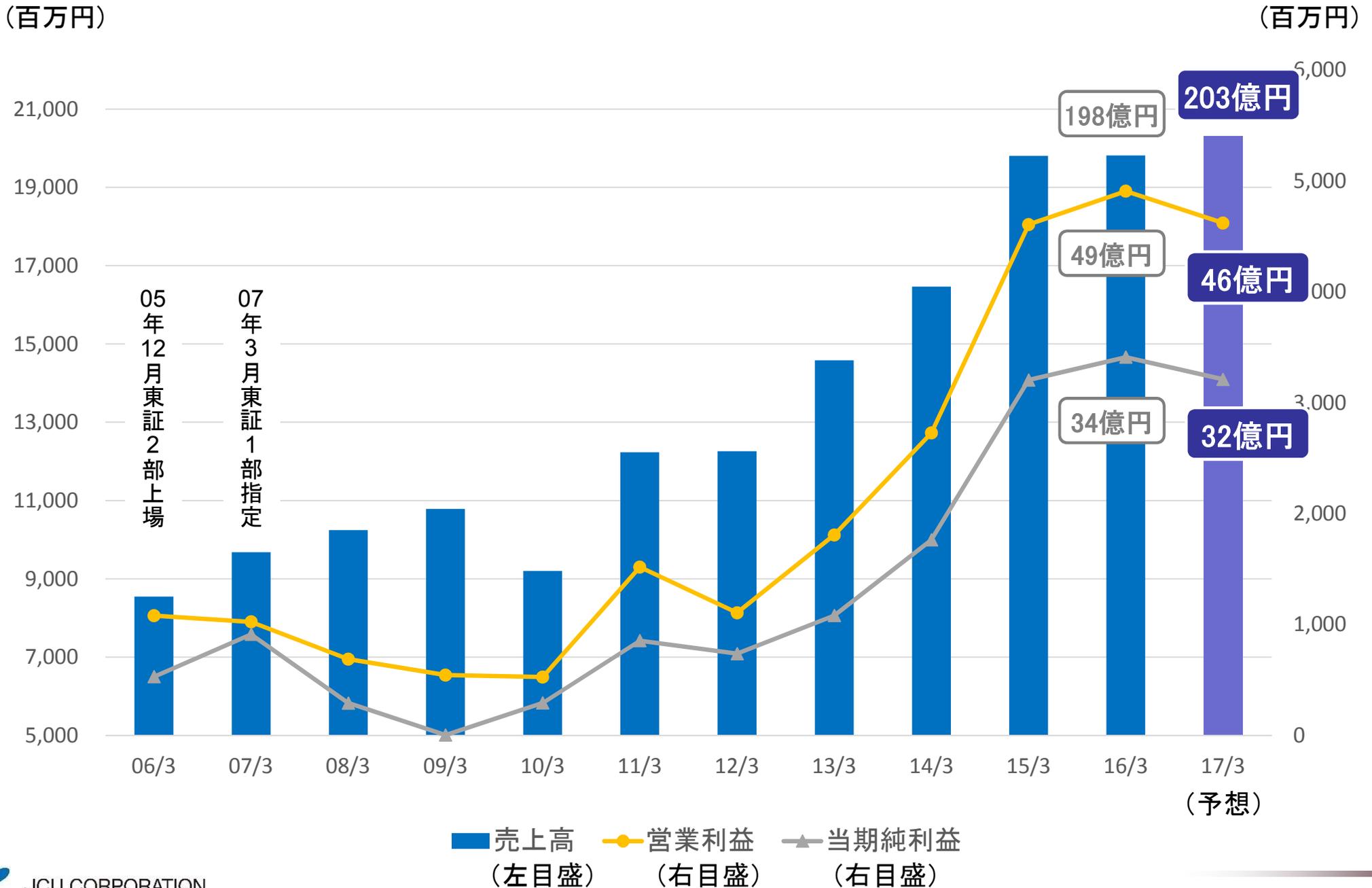
- 
- 2016年3月期決算概要
 - **トピックス**
 - 新経営方針について
 - 参考資料（会社概要）

業績予想

(単位:百万円)

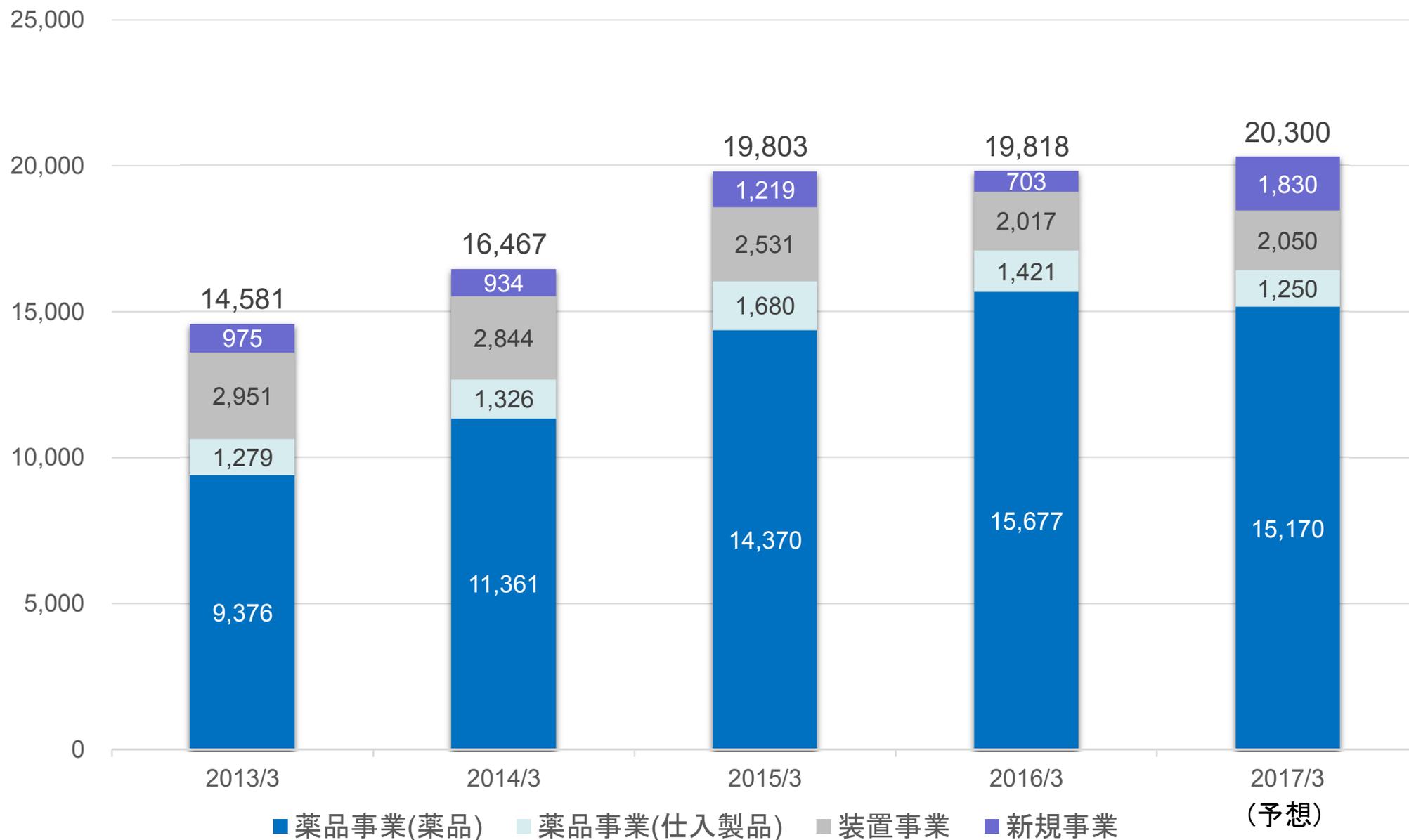
| 決算期 | 2016年3月期 | 2017年3月期 (予想) | 前期に 対する増減率 |
|---------------------|---|------------------------------|---------------|
| 売上高 | 19,818 | 20,300 | 2.4 % |
| 営業利益 | 4,906 | 4,620 | ▲5.8 % |
| 経常利益 | 4,926 | 4,620 | ▲6.2 % |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,410 | 3,210 | ▲5.9 % |
| 1株当たり 当期純利益 | 483円51銭 | 455円04銭 | — |
| 配当 | 120円 (内、記念配当20円) 第2四半期末:60円(内、記念配当10円) 期末:60円(内、記念配当10円) | 120円 第2四半期末:60円 期末:60円 | — |

上場からの業績推移 (予想)



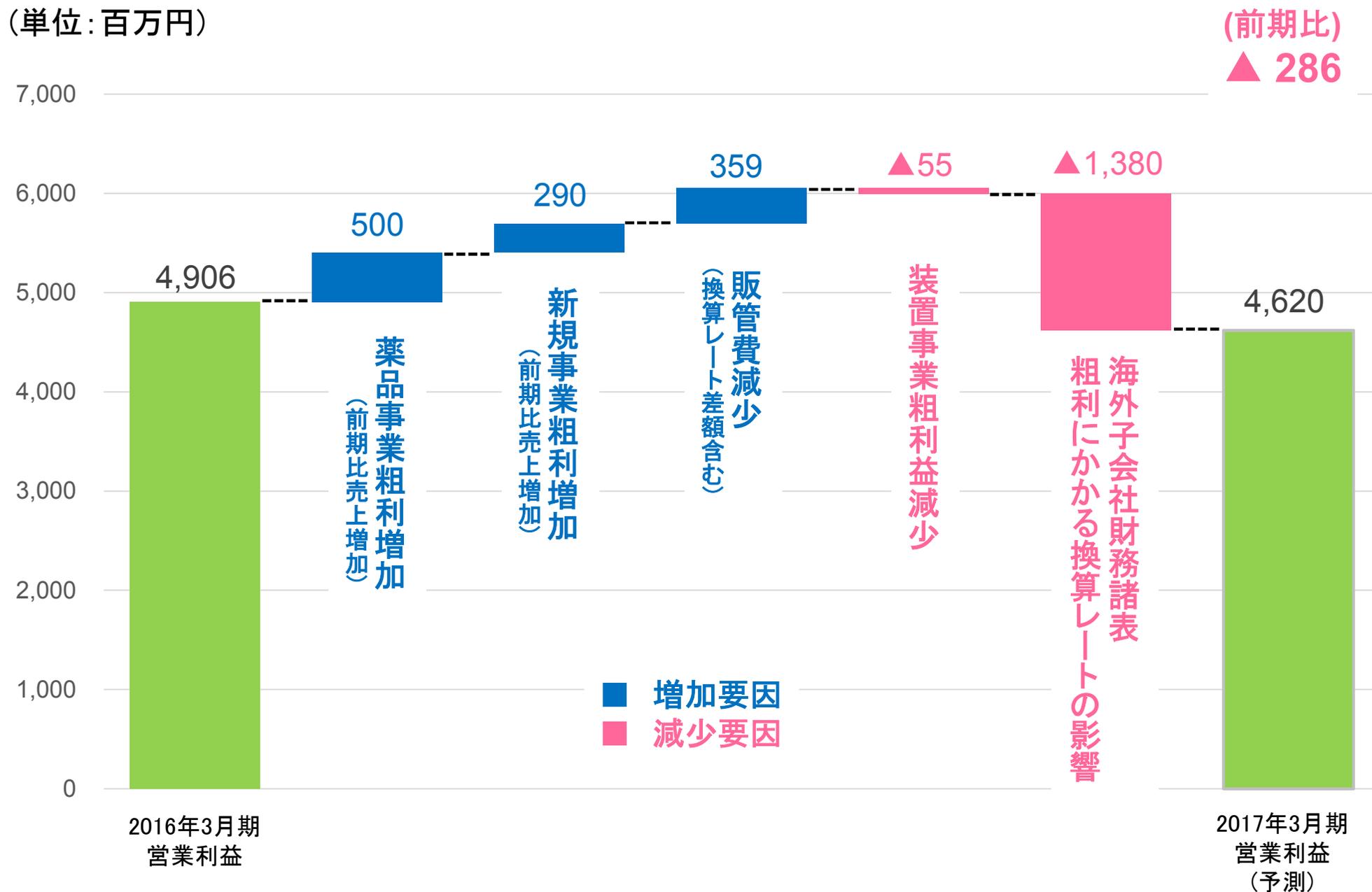
年度別製品構成別売上高推移（予想）

（単位：百万円）



2017年3月期 連結営業利益 増減内容(予想)

(単位:百万円)



FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト

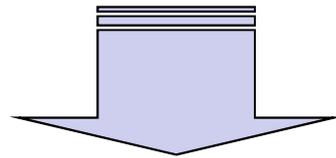
【進捗報告】

FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト【進捗報告】

前回報告(まとめ)

フレキシブル基板(FPC)・・・薄く柔軟性があり、折り曲げられる基板。

- ◆ 近年、スマートフォン等のモバイル機器に使用され、FPCの需要が増加。
- ◆ FPCの市場拡大にあわせて、**新しい製造工法(オールウェットメタライズ法)**を提案。
- ◆ FPCメーカーが素材に直接めっきを行うため、商流の変化が起こる。(次頁、参照)
- ◆ スパッタによる工法と異なり、穴の開いた素材に対して1度に両面へめっきができるため、より微細な回路の形成が可能。**(先孔^{さきあな}工法)**
- ◆ ロール to ロール式の装置と薬品のセット販売 → **生産性UPと大幅コストダウン**



技術的にもコスト的にも優位性あり！

FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト【進捗報告】

FPCの商流

〈ターゲット〉

- ◆ FPCメーカーのFCCL工程の内製化（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ FCCLメーカーへの新工法提案（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ パッケージ基板へFPC採用（軽薄短小化）

ポリイミド(Pi)
フィルムメーカー

フレキシブル銅張積層板
(FCCL)メーカー

FPCメーカー

最終製品メーカー

ポリイミドに銅箔(Cu)を張る。

FCCLを購入し、回路を形成してFPCを製造する。

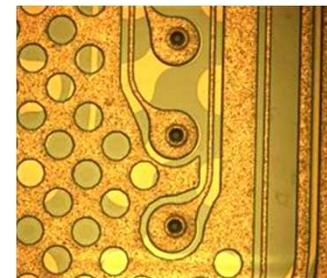
スマートフォンメーカー
TVメーカー、PCメーカー等



ポリイミド(PI)



FCCL(フレキシブル銅張積層板)



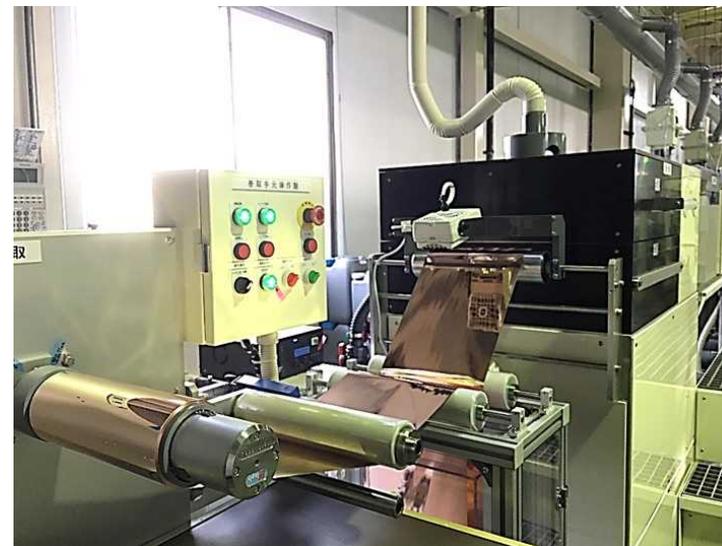
両面FPC



FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト 【進捗報告】



①ロール to ロール式
無電解ニッケルめっき装置



②ロール to ロール式
電解銅めっき装置



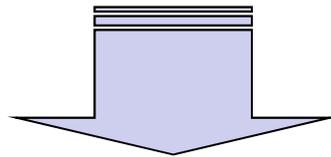
③ロール to ロール式
プラズマ装置

現状報告

- ◆ロール to ロール式無電解ニッケルめっき装置にて、ロール搬送時フィルムにシワが発生。
 - 装置改造に取り組み、シワ発生を克服！
 - 実機で作製したロールサンプルを希望顧客に配布準備完了。
- ◆顧客ごとに異なる様々なフィルム形状(幅、厚さ)に対応できるよう装置を調整中。
- ◆ロール to ロール式プラズマ装置も完成。
 - 顧客の要求性能をクリア！装置の製造に向けた段取りの最中。
- ◆薬品(ELFSEED)については、一部の顧客にて枚葉式エルフシード(バッチ式)で評価中。

今後の対応

- ◆ 様々な形状(幅、厚さ)のフィルムを用いて、実機による評価テストを実施。
- ◆ コスト面での優位性から技術的な優位性のPRへ。
 - 穴の開いたフィルムに直接めっきをつける「先孔工法」。穴の開いたフィルムをロール to ロール装置に入れて評価テストを実施。
(FPCの多層化に備えた活動へ)
- ◆ 顧客の評価テスト時に発生する課題への対応。



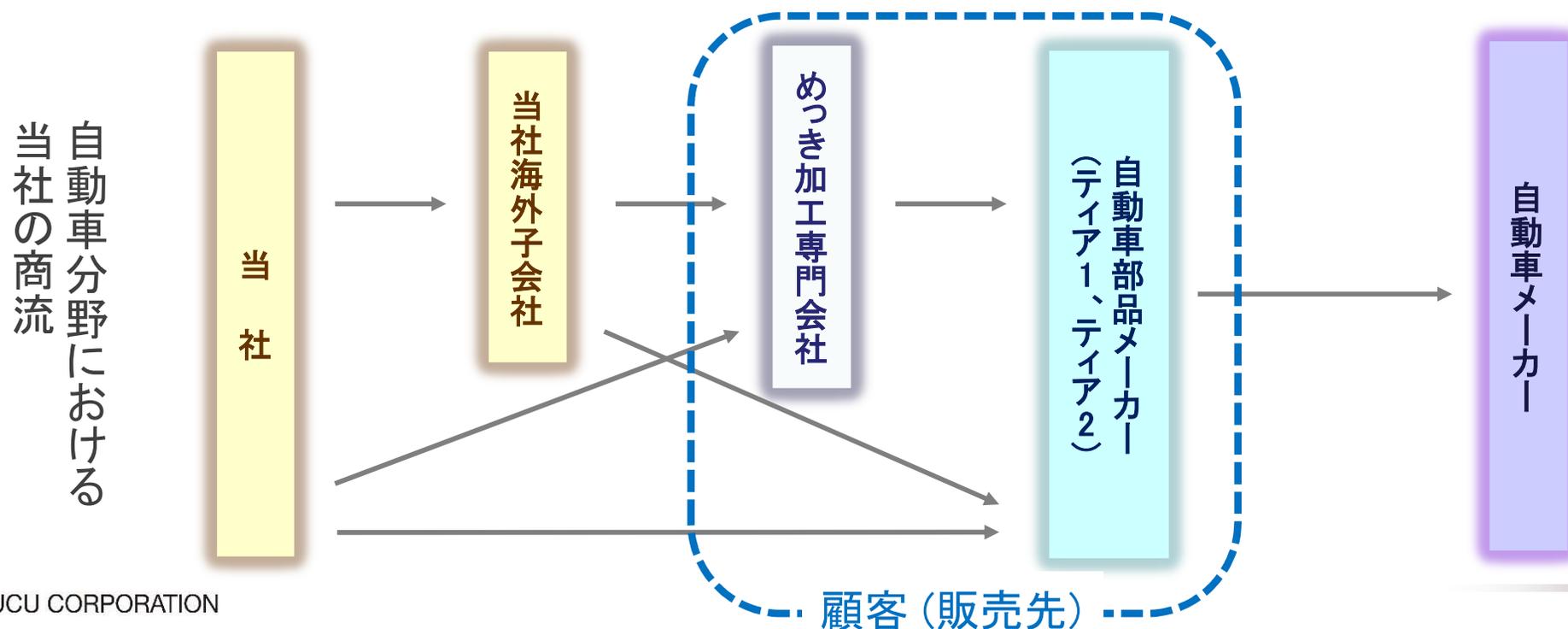
まもなく顧客評価テストを実施！
今期は、装置および薬品の受注に向けた活動を展開。

アメリカ現地法人
JCU INTERNATIONAL, INC.
【進捗報告】

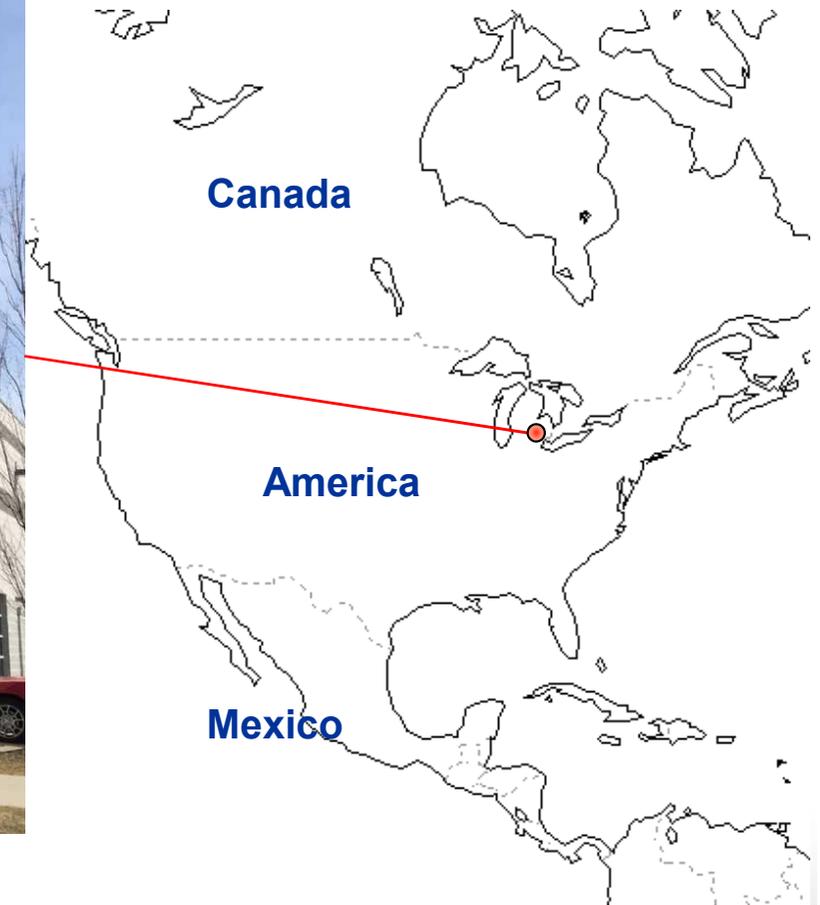
アメリカ現地法人: JCU INTERNATIONAL 【進捗報告】

前回報告(まとめ)

- ◆ 現在、当社商流におけるエンドユーザーは日系自動車メーカーが大半を占める。
- ◆ 欧州の化学物質規制が、今後世界に広がる可能性あり。 → **新技術が必要**
- ◆ 現地での迅速な情報収集、人脈形成の観点から現地法人を設立。
- ◆ JCUグループへの波及効果をもたらす、戦略的な拠点。



アメリカ現地法人: JCU INTERNATIONAL 【進捗報告】



JCU INTERNATIONAL, INC. (ミシガン)

ミシガン州デトロイト市の北西約30Kmに位置するオークランド郡ウィクソム市に設立。同市はBig3の復活により多くの工業団地が開発され、今なお多くの企業が進出しておりこれから更に発展する事が期待されています。

〈実験室の様子〉



〈精密測定室の機器類〉



現状報告

- ◆ オフィスおよび研究所が完成。
- ◆ 営業および研究開発を開始するための各種許認可を全て取得。
- ◆ 最新鋭の測定機器類を有しており、社内に必要な各種測定が可能。
→ 当社の海外現地法人初となる**本格的なR&Dを併設**。
- ◆ 日本本社との受託研究開発締結し、依頼テーマの開発業務を開始。
- ◆ 実験用パイロット試験設備も、7月完成予定。

今期の方策

◆ 世界一の製品を目指す研究開発

→ EUの化学物質規制に対応する研究開発。高性能品を早期に開発し、
アメリカだけではなく日本や中国への波及効果を狙う。

◆ 米国内での知名度向上

→ 現地で無名の当社が米国内の顧客対象に認知されるべく活動を行う。
→ 早期にBIG 3のデザイナーまで到達する事が目標。

◆ マーケティング活動による情報収集

→ 自動車産業における表面処理の将来像や求められる性能等の情報を
入手し、JCUグループとして研究開発に役立てる。

- 
- 2016年3月期決算概要
 - トピックス
 - **新経営方針について**
 - 参考資料（会社概要）

経営方針

株式会社 JCU

代表取締役会長兼CEO

小澤 恵二

- ◆ 地政学的リスク（中国および東アジア・EU・アメリカ・中東 他）
- ◆ テロの脅威・難民問題
- ◆ 経済状況（アメリカ・中国・EU・BRICs 他）
- ◆ 熊本地震の影響
- ◆ 伊勢志摩サミットの声明
- ◆ 消費税の増税判断

マーケット状況

【プリント配線板】

- ◆ スマートフォン 3G ⇒ 4Gが飽和状態（A社、S社の減速）
- ◆ ハイエンドスマホ ⇒ ミドルレンジスマホ（シェア拡大に余地）
- ◆ 車載基板 自動運転が追い風

【自動車需要動向】

- ◆ 原油安 高級車の需要増加（めっきに追い風）
- ◆ デザインの多様化（技術に遅れ）

事業別の見通しと課題

【薬品事業】 コアコンピタンスの効率化による利益確保と拡大

- ◆ ビアフィリングとPOPのシェアを死守（経営資源を集中）
- ◆ 原料調達力と製造コストの低減（生産性向上）
- ◆ 営業効率の向上
- ◆ 他企業との協業による海外展開の加速

【装置事業】

- ◆ 搬送技術、情報処理・管理などの技術革新

【新規事業】

- ◆ 太陽光 → 戦略見直し、水事業 → 中国期待、化粧品 → 縮小

事業の多角化（将来の利益創出）

- ◆ 装置関連 POP治具^(※)の製造販売
- ◆ 先端技術企業へ出資する投資ファンドへの出資
- ◆ 今後のM&A案件には慎重に対処（費用対効果を重視）

※ POP(Plating on Plastics)・・・プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け。
治具・・・成型されたプラスチックをめっき薬品に浸漬させる際に固定する器具。

- ◆ リスクに備え手元流動性の確保
- ◆ 低金利の資金調達も検討（金融機関とのパイプ強化）
- ◆ 自己資本比率の重視
- ◆ 安定した株主配当の維持
- ◆ キャッシュフローの重視
- ◆ 与信管理の徹底

- ◆ コーポレート・ガバナンスの充実（社内の風通しと透明性）
- ◆ コンプライアンスの重視
- ◆ リスク管理
- ◆ ステークホルダーとの良好な関係
- ◆ 環境重視

- 
- 2016年3月期決算概要
 - トピックス
 - 新経営方針について
 - **参考資料 (会社概要)**

会社概要

創業 : 1957年 12月

設立 : 1968年 4月 1日

資本金 : 11億7,625万円

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役会長兼CEO 小澤 惠二
代表取締役社長兼COO 君塚 亮一

従業員数 : 単体 258名 連結 528名 (2016年3月末現在)

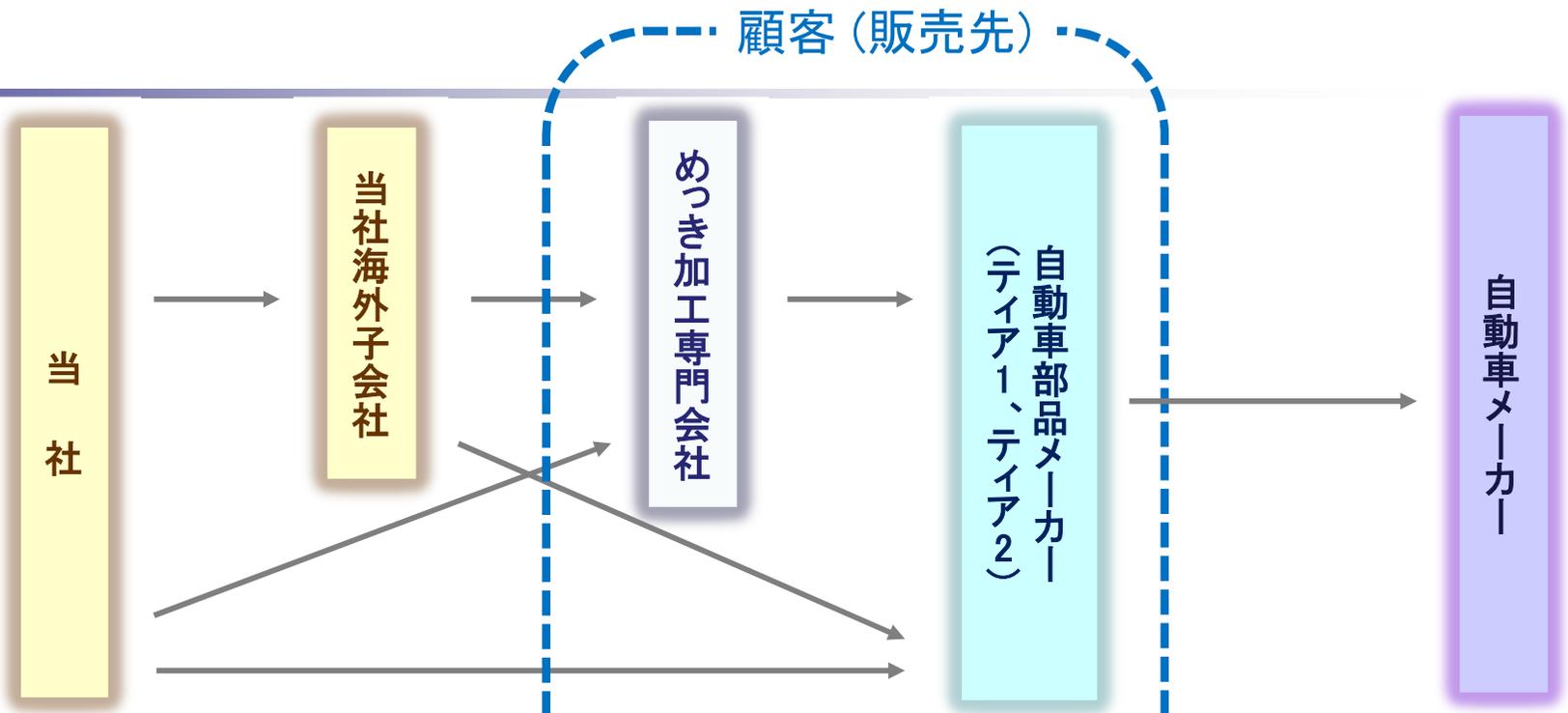
拠点 : 国内 6拠点 海外 13現地法人

ISO認証取得

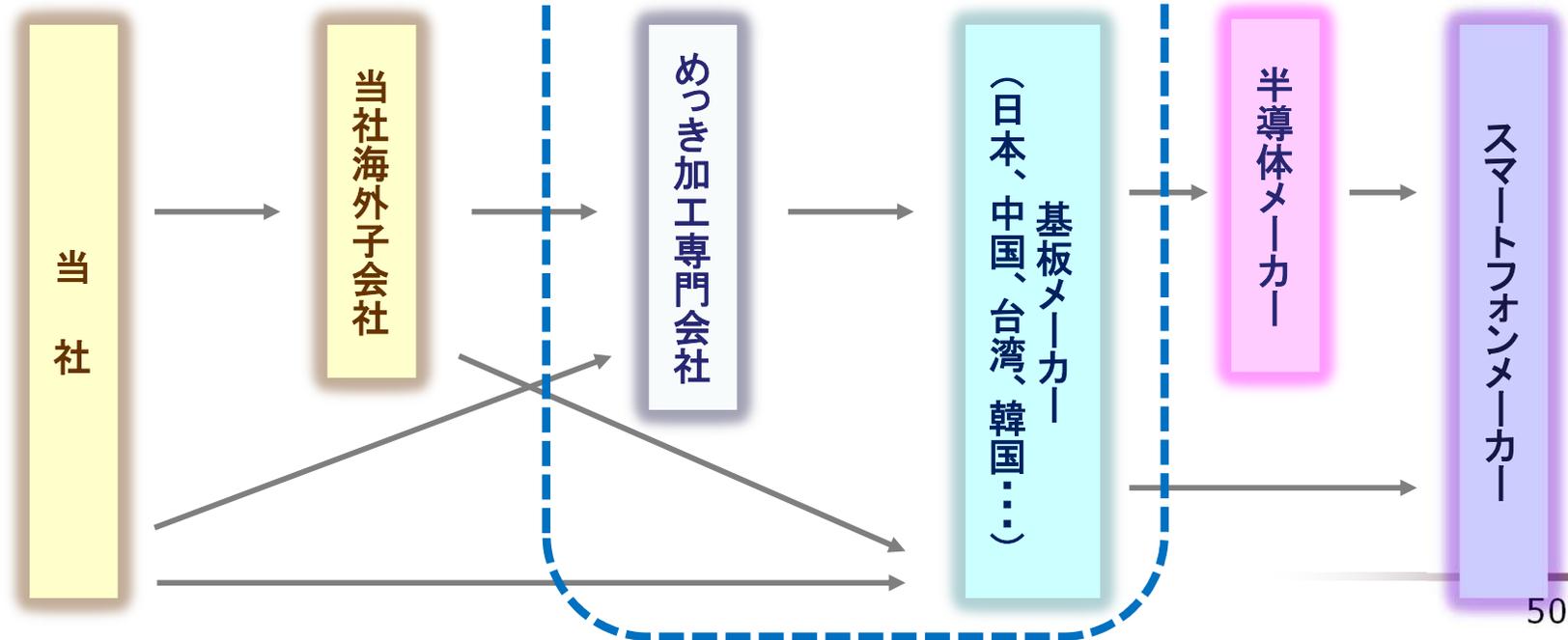
| | | |
|----------|-------------------------------|-------------|
| ISO9001 | 生産本部・薬品調達部・薬品事業本部・本社営業部・総合研究所 | JCQA-0281 |
| ISO14001 | 生産本部・総合研究所 | JCQA-E-0143 |

主な商流

自動車



スマートフォン



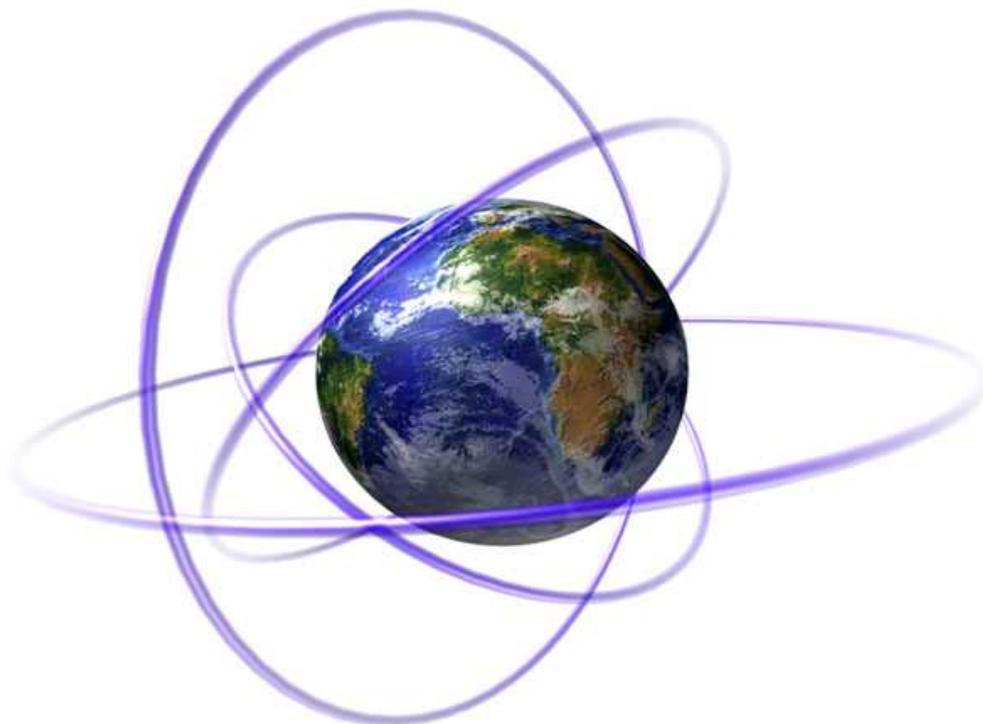
主な製品

| | | |
|------|---------------------|---|
| 薬品事業 | 装飾・防錆分野向け (基幹薬品) | 自動車部品(フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具(給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品(ボルト、ナット等) |
| | 電子分野向け (電子薬品) | プリント配線板(両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品(リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体(シリコンウエハー) |

| | | |
|------|-----------|-------------------------------|
| 装置事業 | 全自動表面処理装置 | 素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置 |
| | 付帯機器 | 表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売 |
| | 自動分析管理装置 | めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置 |

| | | |
|------|---------|-------------------------|
| 新規事業 | プラズマ装置 | プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置 |
| | 太陽光発電装置 | 太陽光発電装置(パネル)の設置・施工 |
| | 天然水 | 当社ブランド「富士桜長命水」の販売 |

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:

<http://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先

株式会社JCU 経営戦略室

TEL: 03-6895-7004

FAX: 03-6895-7022

※ 2016年4月 連絡先を変更しました。